

2009

11

No. 50

Miyakojima City
Public Relations 広報

みやこ
しま



月下に響く「あやぐ」

～ 第4回 なりやまあやぐまつり ～

10月4日、第4回なりやまあやぐまつりが城
辺友利のイムギヤで開催されました。

これは、宮古の代表的な民謡のひとつである「な
りやまあやぐ」を内外にアピールすることを目的
に、同まつり実行委員会と友利部落会が毎年実施
しているものです。

美しい月と、約1300本のろうソクに彩られた
会場に、海の上に設置された舞台から響く「な
りやまあやぐ」は、訪れた多くの市民や観光客をう
っとりさせていました。

今月の主な内容

廃家電輸送費補助の上半期実績P2

離職者支援の為の住宅手当緊急特別対策措置事業P4

お知らせ(全国女性の人権ホットラインほか)P8

■ホームページ <http://www.city.miyakojima.lg.jp/>



廃家電輸送費補助事業

上半期実績報告

今年の4月から始まった「廃家電輸送費補助事業」は、多くの市民のご利用により、予想を上回る成果を上げています。この制度実施からおよそ半年経った現在、これから利用される方へのご案内と、今年度上半期の実績をご報告します。

◎制度実施の目的

家電リサイクル法に基づく特定家庭用機器であるテレビやエアコン、冷蔵庫・冷凍庫、洗濯機、衣類乾燥機の廃家電を処理する際にはリサイクル料金がかりますが、離島であり処理施設のない宮古島の市民は、それに加えて沖縄本島までの輸送費も負担しなければならず、他地区の市民よりも負担が大きくなっていました。

そして輸送費を含む高額なリサイクル料金は、島のあちこちに廃家電の不法投棄が増加する要因の一つもなっていました。

このような状況を踏まえ、市民の負担軽減と不法投棄の未然防止を目的に、今年4月から「廃家電輸送費補助事業」が開始されました。

この事業は、これまで廃家電のリサイクル料金と一緒に支払っていた

沖縄本島までの輸送費を、市が全額補助するものです。

◎制度の上半期実績

宮古島市では、前年度の推計から年間輸送個数を2700個、輸送費を800万円と試算していましたが、4月～9月の輸送実績は個数が3222個、輸送費が886万8408円となり、予想を大きく超えています。

これにより、今まで処理に困っていた廃家電が適切に処理され、結果として不法投棄の減少にもつながっていると考えられます。

この実績を踏まえ、更なる制度の利用を推進するため、今年度は補正予算等で、来年度以降は指定ごみ袋制度の収入等を財源として継続していきたいと考えております。

2009年度上半期 家電リサイクル法対象廃家電 輸送実績

	エアコン	テレビ	冷蔵・冷凍庫	洗濯・衣類乾燥機	合計	輸送費(円)
4月	11	79	40	71	201	566,632
5月	57	249	99	180	585	1,977,277
6月	67	146	99	139	451	1,235,514
7月	161	330	197	246	934	2,254,572
8月	102	227	115	140	584	1,628,723
9月	59	185	116	107	467	1,205,690
合計	457	1,216	666	883	3,222	8,868,408

◎輸送される廃家電の傾向

輸送された廃家電は、テレビが最も多くて1216台。次が洗濯・衣類乾燥機の883台、冷蔵庫・冷凍庫が666台、最も少なかったのはエアコンの457台で、合計3222台となりました。

この中でもテレビは、エアコンの3倍弱の台数が処理されており、この傾向はテレビ放送のデジタル化に向けてさらに増えると予想されます。



廃家電輸送費補助事業フローチャート

市民の皆さんへ

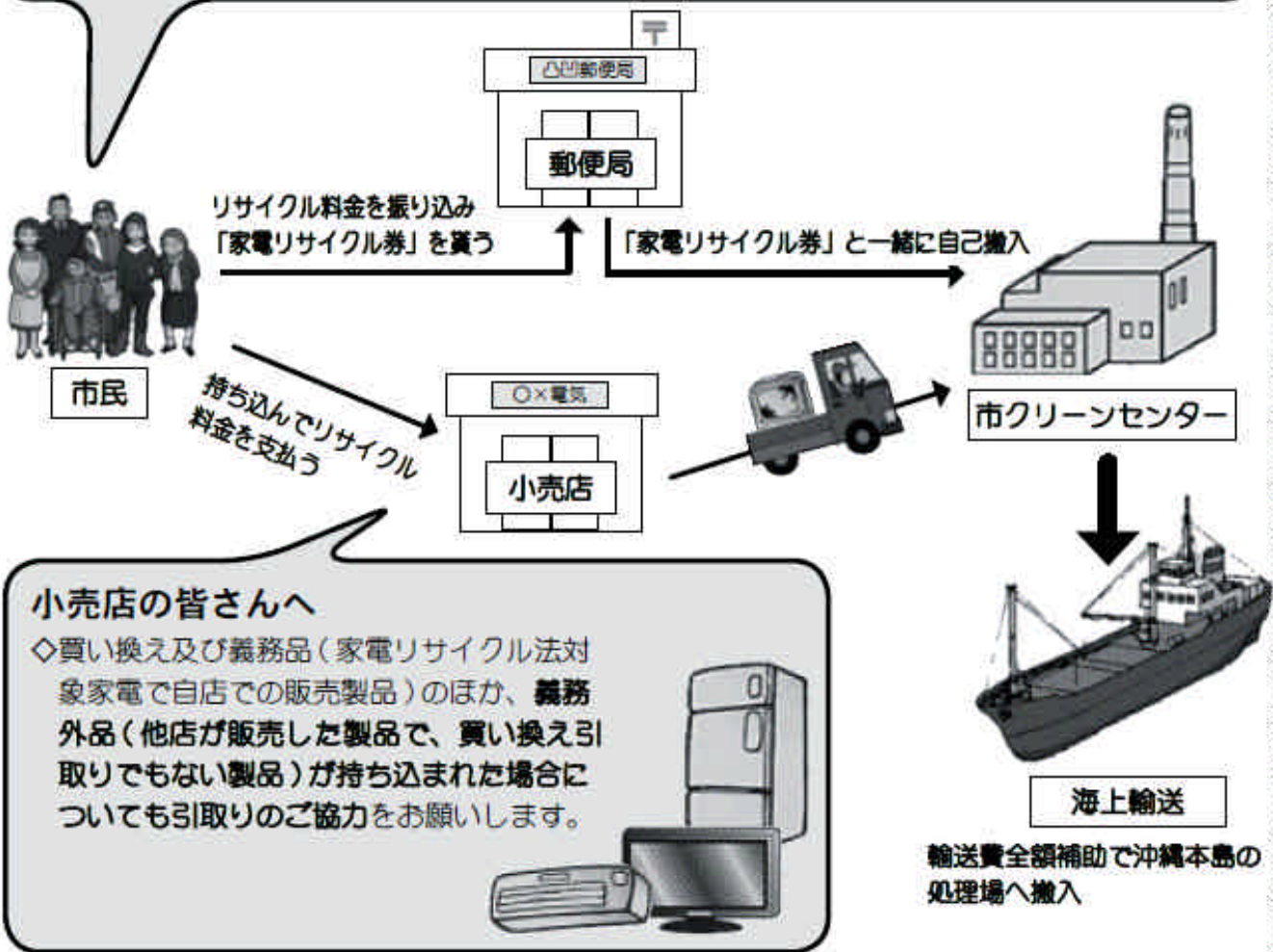
◇廃家電を処理するとき

- ⇒ クリーンセンターに直接運ぶ場合は、郵便局で手続きした後「家電リサイクル券」と一緒に持ち込んで下さい。
※家電リサイクル券は、1台につき1枚必要です。
- ⇒ 家電小売店に持ち込む場合は、リサイクル料金のほか、クリーンセンターまでの運搬料がかかることがありますので注意して下さい。
※詳しくは、各小売店までお問い合わせ下さい。

特定廃家電品目 リサイクル料金一覧

エアコン		¥2,625
テレビ	15型以下	¥1,785
	16型以上	¥2,835
冷蔵・冷凍庫	170ℓ以下	¥3,780
	171ℓ以上	¥4,830
洗濯・衣類乾燥機		¥2,520

※料金はメーカーによって違うことがあります



小売店の皆さんへ

◇買い換え及び義務品(家電リサイクル法対象家電で自店での販売製品)のほか、義務外品(他店が販売した製品で、買い換え取りでもない製品)が持ち込まれた場合についても引取りのご協力をお願いします。



◎まとめ

廃家電輸送費補助事業は、今年新たに始まった事業ながら、半年で当初予算を上回る需要があり、確実に市民の負担軽減と不法投棄の防止に効果があるといえます。

もちろん初年度なので、今まで処理に困って自宅に放置していた廃家電が一気に処理された側面もありますが、これから迎えるテレビ放送のデジタル化など、今後も必要のある事業と考えられます。

「美ぎ島」を目指し、引き続き事業を推進していきますので、市民の皆様のご理解とご協力をよろしくお願いします。

☆お問合せは

環境保全課

☎ 75・5339



いつまでも長生きしてね — 敬老の日 新 100 歳を祝福 —

敬老の日である9月21日、沖縄県と宮古島の代表者が、新100歳を迎えるお年寄りの自宅を訪問して各種祝賀品を贈呈し長寿をお祝いしました。

今年、宮古島市で100歳を迎えるのは21人で、今回訪問したのは城辺在住の宮國カマドさん、平良在住の本村カマドさん、伊良部在住の宮國カマドさんの3人です。このうち、平良の本村カマドさんの自宅では、奇麗な衣装に身を包んだカマドさんに内閣総理大臣の銀杯や県知事の祝状、宮古島市からの記念品など持ちきれないほどの祝賀品が贈呈され、集まった大勢の家族や親戚たちが長生きを祝いました。

宮古島市には現在、100歳以上のお年寄りが56人(男6名、女50人)いて、元気に生活しています。



みんなで作ろう安心の街 ～ 全国地域安全運動宮古島大会 ～

10月9日、平成21年度全国地域安全運動宮古島大会が宮古総合実業高校体育館で開催されました。この大会は、「みんなで作ろう安心の街」をメインスローガンに、すべての人々が安全で安心して生活できる美島宮古島づくりを目指すことを目的で開催されたものです。

当日は、あいにくの天気のため予定されていた会場が変更、パレードが中止となってしまったものの、多くの関係者や地元の児童・生徒たちが集合。小学・中学・高校生の代表者による意見発表や全国地域安全運動用ポスター・標語の入選者表彰、防犯協会による宣言決議などが行われ、地域ぐるみで防犯に取り組むことを確認しました。

「一筆物語」募集!

- 内容：暮らしの中のちょっとした出来事(30字以内)
毎月掲載者の中から抽選で1名に図書券を進呈します
- 応募：ハガキ・FAX・メールで下記まで
※住所・年齢・名前(匿名・ペンネーム可)を明記すること
〒906-8501 宮古島市平良字西里186 広報みやこじま「一筆物語」宛
TEL: 72-3751 (内線304) FAX: 73-1645
E-mail: kouhoubosyu@city.miyakojima.lg.jp



うまんかい!がまんかい!

宮古島の話題 [The Topics]



MIYAKO STUDENT BAND MATHIDA LIVE II

2009年度マティダ市民劇場の自主文化事業「マティダライブII」が10月11日、マティダ市民劇場で開催されました。これは、真剣にダンスや音楽に取り組んでいる宮古島の中高生の活動の場を広げようと企画されたもので、今回で2回目となります。

今回は地元の高中生バンドやユニットが合わせて9組出場。プロのコンサートでも使われる音響機材を活用したステージの上で、大人顔負けの演奏やダンスを披露し、観客からの拍手を浴びていました。



被災者へ災害救援金を!

— 赤十字宮古島市地区 スマトラ島・サモア諸島地震津波被災者支援街頭募金 —



9月に発生したスマトラ島沖地震、サモア諸島沖地震津波災害などの支援のため、10月17日、赤十字宮古島市地区(下地敏彦市長)では、赤十字奉仕団、高校生ボランティアのみなさんの協力の下、市職員等が市内大型店舗の4箇所で街頭募金を行いました。

買い物に訪れた多くの市民は、甚大な被害をもたらした被災地の方のために、快く募金を行っていました。今回集められた救援金は、日本赤十字社に託され、災害者救援に役立てられます。